



- 【経歴】
1. 台湾に工業系大学卒業後1965年、横浜国立大学工学部化学工学科修士号取得、1969年卒業
 2. 1969年、横浜国立大学大学院工学研究科修士課程化学工学専攻入学（修士号取得）、1970年、修了
 3. 台湾に帰国後、台湾の台湾プラスチックグループに入社
 4. 2005年、同社を退職し、太陽電池製造会社を創業
 5. 現在
 - ① 昇陽光電科技公司 (Shengyang Energy Corp.) 社長
 - ② 昇陽光電科技公司 (Shengyang PV Corp.) 社長
 - ③ ノーソーラーフュエル株式会社 (Solartech Japan Corp.) 代表取締役社長
 - ④ 静岡県学務委員会 会長

本書の基本理念
実践性・先進性・国際性
トータルソリューション

張 錦龍 氏

(1942)

張 錦龍 氏 業績

張錦龍氏は、台湾の著名な財閥といわれた（財）王永慶氏の経営、指導および影響を受け、幼少期を経て台湾プラスチックグループを台湾最大の企業へ成長させた。続いて、アメリカという全く異なる文化の異なる国に渡り、10数年の努力を経て、同グループをアメリカにおける台湾最大の企業グループへと成長させた。さらに、中国大陸開拓の旗、また一歩進め中国大陸へ、極めて早いスピードで進出し、近年の努力を積み重ねて、今では中国大陸における台湾最大の企業へと成長させることに成功した。



日本ロータリークラブ米山記念奨学会への賛助として、奨明基金を創設し、経済的に恵まれない学生に学費を助成し、勉学の機会、生活に困窮している学生のために奨学費を奨助しつづけている。

2013年9月12日に本学に入学され、藤村 謙「藤村永在 新専攻部」が主任から化学工学教室（現「化学生命系科学化学応用系」）に贈呈された。「藤村永在 教務長」は、「藤村は益々あり、（その）存在がなくなることは、『藤村の存在』失うるおそれ、存続する事があることであり、化学工学教室にとってこの上ない贈り物となった。

2013年9月12日、本学に入学された時の張錦龍氏 贈呈いただいた藤村謙の前で。



2013年9月12日入学時の張 錦龍 氏 と本学職員

共々三十年
藤村 謙